

平成24年第3回県教育委員会会議
教育長報告

1 報告事項

平成23年度 児童生徒の体力・運動能力調査結果について

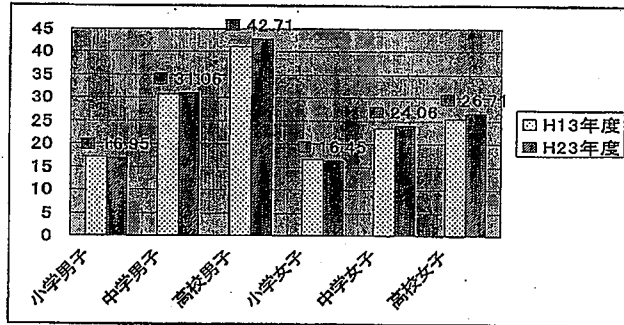
2 事項の説明

県教育委員会で従来報告している「全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果」が、東日本大震災の影響で平成23年度は取りやめとなった。今年度は、例年同様な報告ができないため、本県独自で毎年実施している「新体力テスト調査結果」から抽出し、10年前と比較する方法で報告する。

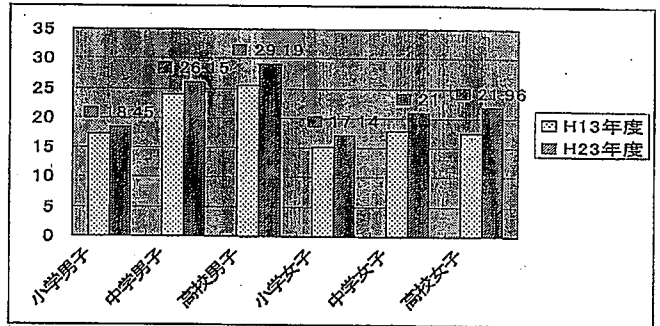
(1) 調査結果の概要

○H13年度とH23年度 調査結果の比較

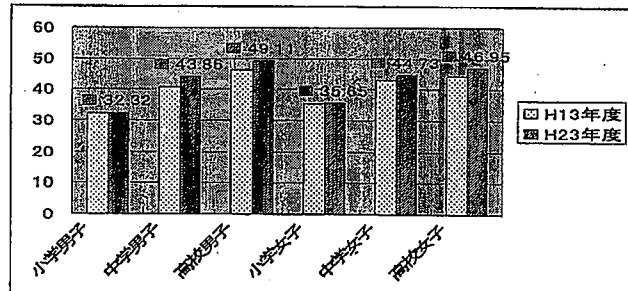
握力 (kg)



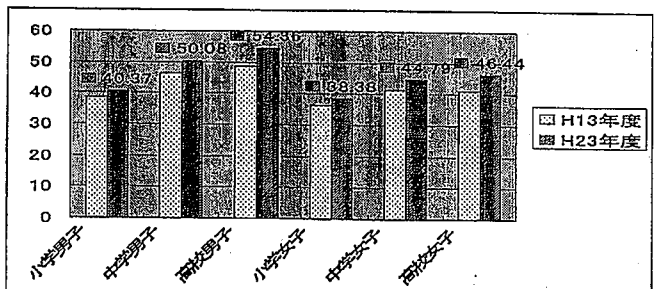
上体起こし (回)



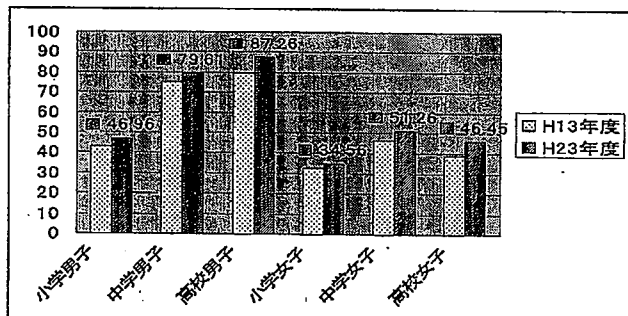
長座体前屈 (cm)



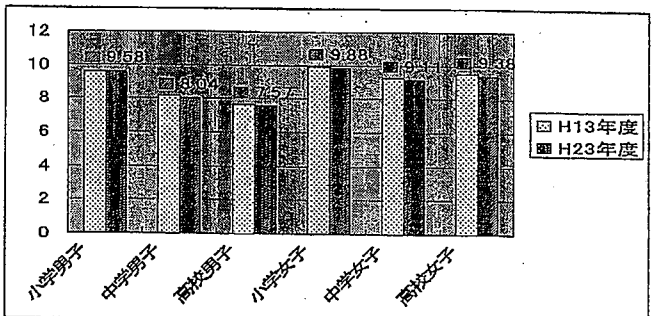
反復横とび (回)



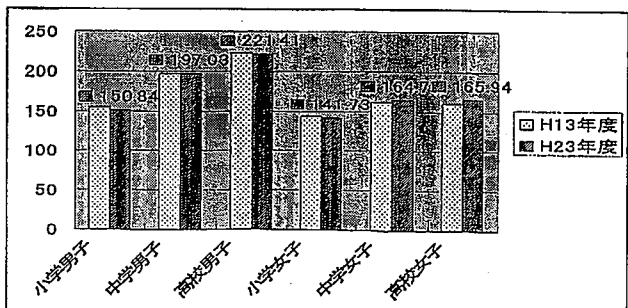
20mシャトルラン (回)



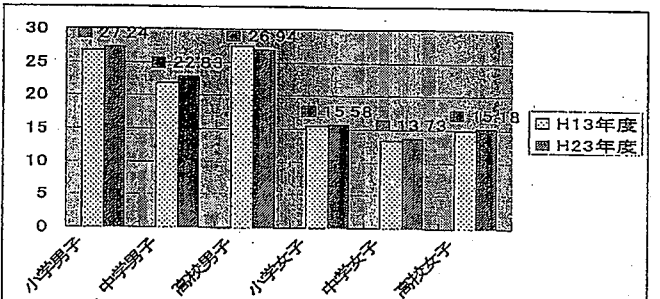
50m走 (秒) ※タイム比較



立ち幅跳び (cm)



小：ソフトボール投げ(m) 中：ハードボール投げ(m)



(2) 考察（実技に関する調査結果より）

本県の新体力テストの結果を10年前の結果を比較すると、小学校・中学校・高等学校それぞれ男女ともに、全8種目ほとんどで数値結果の伸びがみられる。体力は、1年ごとの比較では伸びがみえにくいですが、10年間の比較でみると明らかに向上している。

その中で、唯一低下した種目が立ち幅跳びである。中学校女子、高等学校女子以外は数値が低下しており、今後に向けて課題となっている。立ち幅跳びは瞬発力をみる種目で、全国的に低下傾向となっている。

(3) 今後の取組

- ① 県児童生徒体力向上推進委員会において、調査結果の詳細な分析・考察を行い、児童生徒の体力向上に向けて、学校、家庭・地域が取り組む内容を整理して、具体的支援に努める。
 - 日常的に運動に親しむための取り組みの推進
 - 学校全体の体力向上に向けての継続的な取組の実施
 - ・ 県独自の体力・運動能力及び泳力調査の継続実施と調査結果の分析考察についての報告書を作成配布し、各学校の取り組みへの支援に努める。
 - ・ 体力向上推進委員会において作成された「がんじゅうアッププログラム」等を利用し、体力向上の啓発に努める。
- ② 校内体力向上推進委員会(仮称)の設置を促進し、各学校における、児童生徒の体力や生活習慣、食習慣、運動習慣等を分析・把握し、体育・健康に関する授業の工夫改善を図るとともに、学校の教育活動全体を通して、児童生徒の体力向上の推進を行う。
 - 学校独自の一校一事業の取り組み、運動部加入の奨励、登下校時の徒歩登校等、学校、家庭、地域と連携した取り組みの強化。
- ③ 家庭・地域において、子どもたちが安全で安心して運動やスポーツ、外遊びなどができる環境づくりを促進するとともに、学校と連携しながら、体力向上の啓発運動を行う。
 - 早寝、早起き、朝ごはん等の規則正しい生活習慣の実践